

佐々木直哉君(経済・1年) 地域産業プロジェクト

現代GPというプロジェクトに入ったことによって知多半島の産業や街並み、そして人々の考えが調査や研究をしていくうちにわかってきました。中部国際空港の見学やトヨタの歴史や自動車の製造工程などが見られる産業技術記念館はずいぶん参考になりました。自分達の知らないものを調査や研究することは大変ですが、結果が出た時は気分が良い。これからも自分の持っている知識と現代GPの仲間達と協力していきたいです。

左から佐々木君、對木君、小林君、三貝君



三貝 豪君(経済・2年) 地域産業プロジェクト

“自分達で考えること”この現代GPの魅力はそこにあると思います。自分達で疑問に思ったこと、興味あることについて調べ、皆で考える。その後、実際に現場へ視察に行き、また皆で考える。空港調査をする際にも、まず「なぜ常滑に空港をつくるのか?」という疑問から話し合い、そして調べ、そのような学習を重ねてきました。考えることの大切さ、他にも皆で協力することの大切さ、まだまだこの現代GPで学ぶことはたくさんある。これからも積極的に取り組んでいきたい。

對木大輔君(経済・1年) 地域産業プロジェクト

大学の講義と違い実際に学外に出て、見学をしたり、調査をしたりして、とてもやりがいがある活動だと思います。産業拠点多く集積している知多半島の産業を文献やインターネットで調べたり、実際に企業などに話を聞きに行ったり、歴史的な背景にも注目し、深く広く調べていきたいと思っています。知多半島に中部国際空港(セントレア)も開港したので、セントレアを中心に一生懸命、積極的に調査していきたい。

小林 譲君(経済・3年) 地域産業プロジェクト

僕がこの現代GPに興味を持ったのは、これまで受けてきた先生の話聞くだけの講義とは違うことです。自分達で考え調べ、調査などをして、地域の活動について学んでいくということにやりがいを感じています。まもなく4年生で就職活動が忙しくなってきましたが、この経験を生かし、面接などで大学生活で何をやってきたかと聞かれた際に「現代GPをやってきました」と胸を張って言えるように、この活動に力を入れていきたい。

大橋幸世さん(経済・2年) 地域産業プロジェクト

みんなでパソコンを使って調べていくうちに、疑問に思ったことがどんどん広がっていき、深い学習ができる場としていい経験になるし、大学という場を出て、アンケート調査を通じて自分の視野を広げられる機会として現代GPに参加したいと思いました。中部国際空港開港という時代の流れを利用して、いろいろな人とコミュニケーションをとったり、アンケートに答えてもらえる接し方などを直接学べるということで積極的に頑張りたい。

真弓裕司君(経済・2年) 地域商工業振興プロジェクト

僕は、出身が福岡で大学に入って、知多半島に初めてきて、今、大学の近くに下宿しています。地域活動する前までは、単なる田舎というイメージしか持っていませんでした。しかし、現代GPを通して、今、自分が生活している地域を深く見つめて行くうちに、都会にはないいいところがたくさん発見できました。知多半島には、いい場所、いいお店はたくさんあるのですが、どのように紹介したら魅力的に感じてもらえるのかを皆で頭を悩ませました。この活動を通して、知多半島は魅力ある地域と感じました。僕は、帰省の際、セントレアを利用するので、空港利用者にもマップを活用してもらいたい。

左から石田さん、加藤さん、大橋さん、東海さん



東海佐知子さん(経済・2年) 地域産業プロジェクト

アンケートなど普段では経験できないことが出来て、視野が広がると思うから頑張りたいです。それに中部国際空港開港の時期に、このようなプロジェクトに参加できたことは、とても貴重な体験になると思います。新しい空港開港や市町村合併など何かと話題な知多半島をしっかりと見つめて学んでいけるいい機会だと考えています。

石田有香さん(経済・2年) 地域産業プロジェクト

知多半島の産業をパソコンで調べたり、実際に見に行ったり、みんなで疑問を出し合い答えを出していくことが楽しいです。普段の授業ではできない体験がたくさんでき、自分の能力を高めていきたいです。さらに学年を超えた交流ができたり、いろいろな情報が得られたりと、自分の視野も広がります。空港でのアンケート調査などは、なかなかできない経験と思っています。何事にも疑問を持ち、考え続けることの大切さを現代GPを通して学んでいきたい。

加藤千晶さん(経済・2年) 地域産業プロジェクト

中部国際空港の調査で地域活性化につながる答えが見つかり、地域活性化への第一歩が踏み出せるように自分たちで何かできたら良いなと思っています。空港ができたことにより、どのようなメリットがあり、そしてデメリットを知り、そのデメリットの対策などを考えていき、地域活性化につなげていけたら良いなと思っています。この現代GPに参加して、何か自分に得られるように頑張りたいです。



左から真弓君、谷口君

谷口慶典君(経済・2年) 地域商工業振興プロジェクト

師崎のマップづくりで、みんなで情報集めに地域に出て師崎を車に乗って回ったり、文献を集めたりするのが楽しかったです。たいへんだったのは、マップへ情報を落としこんでまとめる作業でした。10数名のメンバーがそれぞれの考えを持っているので、意見を集約することのたいへんさを学びました。自分たちで歩いて、地域の人にその地域のお勧めなどを伺いました。そのなかで、自分たちの知らない長く地域に住んでいる人ならではのいろいろな話が聞けて勉強になりました。今回の師崎のマップには、僕らがつくった成長していくオリジナルキャラクター「知多くん」が登場します。一押しです。

榊原将人君(経済・2年) 地域商工業振興プロジェクト

現代GPの取り組みを通して、みんなで一つのものを作り上げていくやりがいとともに、みんなで一つのものを作り上げていくことの難しさの両面を味わうことができました。“つらいけど楽しい”というのが正直な感想です。師崎のマップづくりは、試行錯誤の連続でしたが、現地調査では、普段、行かないような田舎の道に入っていく、“こんなところがあったんだ”というあらたな発見が多くありました。さらに、もっといろいろなところを見てみたいという意欲がわいてきました。また、現地調査では、いかつい顔の人が気さくに話して頂けるなど様々な出会いがありました。



榊原君



成長していくキャラクター「知多くん」

「知多くん」とは、地域商工業振興プロジェクトの師崎マップに登場する成長していくキャラクター「知多くん」は、学生たち自らがデザインしたものです。マップ上で、素晴らしい景色をみたり、おいしい食事をしたりすることでキャラクターが成長していきます。左端が、最初の状態で、右端が途中で、真ん中が、師崎の素晴らしい出会いを通して成長した筋肉質の「知多くん」です。

インタビュー：現代GPコーディネーター 名倉 弘二